

(案)

情報通信審議会 情報通信技術分科会
陸上無線通信委員会 (第 80 回) 議事録 (案)

1 日時

令和 5 年 6 月 8 日 (木) 10:00~10:33

2 場所

WEB上で開催

3 出席者(敬称略)

主 査 : 三次 仁

主 査 代 理 : 豊嶋 守生

委 員 : 高田 潤一

森川 博之

専 門 委 員 : 秋山 裕子、飯塚 留美、井家上 哲史、今村 浩一郎、杉浦 誠、

杉本 千佳、高尾 義則、田丸 健三郎、福家 裕、藤井 威生、

藤野 義之、松尾 綾子、吉田 奈穂子

事 務 局 : 総務省 移動通信課 第一技術係及び基幹通信室 第一マイクロ通信係

4 配布資料

資料番号	資料名	作成者
資料 80-1	陸上無線通信委員会 (第 79 回) 議事概要 (案)	事務局
資料 80-2-1	「広帯域無線 LAN の導入のための技術的条件」 の検討開始について	事務局
資料 80-2-2	「広帯域無線 LAN の導入のための技術的条件」 に関する検討の進め方 (案)	事務局

5 議事

(1) 前回の議事録案の確認

資料 80-1 に基づき、事務局より説明が行われ、(案) のとおり承認された。

(2) 「広帯域無線 LAN の導入のための技術的条件」の検討開始について

資料 80-2-1 及び資料 80-2-2 に基づき、事務局より説明が行われ、5.2GHz 帯及び 6GHz 帯無線 LAN 作業班における「広帯域無線 LAN の導入のための技術的条件」の検討開始について確認された。

主な質疑応答の概要は以下のとおり。

- 高尾専門委員 : 広帯域無線 LAN の導入について異を唱えるものではないが、共用検討対象周波数として、2.4GHz 帯及び 5.6GHz 帯のアマチュア無線が含まれていることから、Wi-Fi 7 の新たな機能等によって混信の増加がないよう検討していただきたい。
- 三 次 主 査 : JARL は無線 LAN 作業班に参画されているか。
- 高尾専門委員 : 作業班に参画はしていない。
- 事 務 局 : 他の無線局に影響がないよう検討していきたい。
- 高尾専門委員 : ご配慮の程、よろしく願います。
- 今村専門委員 : 今回の共用検討に電気通信業務用の固定局が含まれているが、重要無線回線に指定されている回線が含まれていることから屋外使用については、共用検討を慎重にすすめていただきたい。
また、資料 80-2-1 スライド 2 枚目についてオレンジ色の点線で囲われている「700MHz 幅継続検討中」の部分について、共用検討を継続検討するという認識でよろしいか。
- 事 務 局 : 共用検討については、引き続き慎重に進めさせていただく。
前回、検討開始させていただいた部分になる。6425MHz から 7125MHz までの間は継続的に拡張の議論が進められており、並行してどのように導入できるか検討させていただく。
- 今村専門委員 : 承知した、図の書き方になるが、囲う線が共用相手となる領域まで囲う必要があるかと思われる。
- 事 務 局 : 図は修正させていただく。
- 三 次 主 査 : 資料 80-2-1 スライド 2 枚目について赤の点線は今回の作業班での検討領域という認識でいいか。320MHz チャンネルは LPI 及び VLP で適用されるものか。
- 事 務 局 : 昨年から審議を開始したものには、VLP は屋外において 25mW、

LPI は屋内において 200mW で電波を発射できることとなっており、SP には AFC と呼ばれるシステムの導入も含めて検討させていただいている。

三 次 主 査
事 務 局

今回は、SP の検討も含まれるものか。

SP については現在議論中であり、今回の検討には含まれていない。

三 次 主 査

承知した。屋外使用は重要無線があることから慎重に検討していただきたい。320MHz チャンネルが他の無線システムに影響がないよう慎重に検討していただきたい。

事務局から作業班に対して、アマチュア無線及び重要無線への影響がないよう配慮の上技術的条件の検討を行うよう伝達願いたい。

(3) その他

事務局より、次回の開催日程等については別途連絡する旨の説明を行った。

(以上)